



# 「鹿のように」

「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。  
私のたましいはあなたを慕いあえぎます。」

詩篇 42 篇 1 節

## CFNJ NEWS

クラリスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2017年6月・7月号 NO.168





# 「鹿のように」

「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私のたましいはあなたを慕いあえぎます。」  
詩篇42篇1節

CFNJ 聖書学院 学院長  
鍛冶川 利文

## 「AS THE DEER」

「鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私の魂はあなたを慕いあえぎます。」(1節)

この1節から有名な曲が生まれました。「マーティン・ナイストローム」という人が、この個所から「AS THE DEER」(鹿のように)という賛美を作りました。この曲は、今も世界中で愛され、様々な言語に訳され歌われ続けています。この作者は、学院の母校である、ダラスのクライスト・フォー・ザ・ネイションズ(CFNI)を卒業した人です。

イエス様が山上の垂訓の中で、「義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるからです。」(マタイ6節)と教えられました。この満ち足りる姿こそ、人間の最も幸福な状態です。しかしそこに至る為には、飢え渴く経験をしなければなりません。誰も渴きを感じることは、満足感も感じることがないからです。この詩篇の作者は、水を求めさまよい歩く鹿の姿を見て、自分と鹿との境遇を重ね合わせ見えています。

鹿は、聖書の中に出てくる動物の中でも、とてもなじみ深い身近な存在です。よく山の近くに行くと

鹿の姿を目にします。特に北海道では、「エゾシカ」と言いますが、最近では数がとても増えて来ているそうです。その結果、畑を荒らすとか、少し困った状況も起こっているそうです。でも聖書では、鹿はとても愛らしく、生き生きとした、命溢れる動物として描かれています。雅歌の中には、「私の愛する方は、かもしかや若い鹿のようです。」(雅歌2章9節)そして、イザヤ書にも「そのとき、足なえは鹿のようにとびはね、おしの舌は喜び歌う。荒野に水がわき出し、荒地に川が流れるからだ。」(イザヤ書35章6節)ですから本来の鹿の姿は、とても愛らしく、元気な、そして、喜びや活力ある動物です。しかし、この詩篇42篇に出てくる鹿は、水に渴き、弱っている姿です。このような姿は、旧約聖書の哀歌にもあります。「シオンの娘からは、すべての輝きがなくなり、首長たちは、牧場のない鹿のようになって、追う者の前を力なく歩む。」(哀歌1章6節)

本来、愛らしく元気なはずの鹿が、居場所を追われ、その輝きを失い、飢え渴き、さまよい歩く。そんな鹿の姿が、この哀歌に、そして、この詩篇42篇にも同じように描かれているのです。

詩篇の42篇の6節に、「絶望」という言葉が出てきます。「私の神よ。私のたましいは御前に絶望

しています。」(6節)ですから、この詩篇の作者は、「絶望」しているのです。でも、後半には、それで終わるのではなく、そこから立ち上がろうとする語りかけがあります。「わがたましいよ。なぜ、おまえは絶望しているのか。御前で思い乱れているのか。」(5節)(11節)この絶望感に対し、自分自身が、自分のたましいに呼びかけているのです。そこには「なぜ?」という問いとともに、「絶望しなくて良いのだ」という、神に対する信仰の告白があるのです。人は「なぜ?」絶望するのでしょうか?そして、本当の希望を持つことが出来るのでしょうか?この作者の渴きと解決を見ていきましょう。

## 1. 忘れられた者の渴き

「私は、わが巖の神に申し上げます。『なぜ、あなたは私をお忘れになったのですか。なぜ私は敵のしいたげに、嘆いて歩くのですか。』」(9節)

作者は、エルサレムから離されました。それで神から見放されたと感じました。(9節)この詩篇の表題に、「コラの子」とあります。もし彼らが作者であるならば、彼らは、以前、荒野で神に背き、それ故、神に一度、見放された民です。(民数記16章32節)しかしその後、残りの者たちが、神に仕え、祭司となり礼拝を続けていました。しかしその後、戦争が起こり、民は捕囚となり、住み慣れたエルサレムから離れなければならなくなります。そしてそれが神から離れていくように感じるのです。今まで通りの宮での礼拝や奉仕が出来なくなります。祭司にとっての宮での奉仕は当たり前前の日常のことであつたでしょう。しかし、それを奪われたことで、あらためて、それがどんなに大切なことを味わうのです。それを失った渴きを感じるのです。その苦しみと渴きの中で、「自分は、神に捨てられののではないか?」「忘れられたのではないか?」と思ったことでしょう。人は大切なものを失って、あらためてそれが自分にとってどんなに必要なものかを知るのです。「のどの渴き」として感じるのです。人間は神なしには、本当の意味で生きられないものです。神から離されるなら、結局は絶望しかありません。

なぜなら人はそのように神から造られたからです。表題の「マスキール」とは、後世の人の為の教訓という意味があります。

しかし、神は、ご自身の民を忘れてはいませんでした。捕囚後、彼らは顧みられるのです。その約束の言葉があります。

「女が自分の乳飲み子を忘れようか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとい、女たちが忘れても、このわたしはあなたを忘れない。」(イザヤ書49章15節)この御言葉の故に、絶望はしなくてよいのです!

## 2. 不信の故の渴き

「私の涙は、昼も夜も、私の食べ物でした。人が一日中「おまえの神はどこにいるのか。」と私に言う間。」(3節)「私の神よ。私のたましいは御前に絶望しています。それゆえ、ヨルダンとヘルモンの地から、またミツアルの山から私はあなたを思い起こします。」(6節)

コラの子らは、人からのあざけりの言葉に苦しんでいました。「おまえの神はどこにいるのか?」それも、一日中でした。これはたまりません。恐らくバビロンの捕囚の時かもしれません。このあざけりの言葉は、神の実存への疑いというより、信仰に対する非難でした。神は、「おまえを助けなかったのか?」「おまえには信仰があるのか?」という悪口です。このそしりの言葉は、今の私たちの思いの中にも聞こえてきます。悪魔からの声です。「お前はだめだ!」「お前には出来ない!」「お前には信仰がない!」そのような声が絶えず聞こえます。その結果、自分を自分で裁き、今の現状に対して不満をいうようになります。この詩篇の作者は、過去の記憶の中に逃げ込もうとします。4節には、「私はあの事などを思い起こし」と言っています。いったい何を思い起こしているかということ、同じ4節に、「私がああ群れといっしょに行き巡り、喜びと感謝の声をあげて、祭りを祝う群集とともに神の家へとゆっくり歩いて行ったことなどを。」(4節)これは、過去の記憶です。以前の宮の祝いの様子です。彼らは今の悲惨な現状に疲れ、過去の良かった時の記憶に



戻ろうとします。過去の郷愁の中に逃げ込んでいるのです。そして、今の状況に絶望しているのです。人はよく昔を懐かしむものです。しかし、過去に生きることは出来ません。もし、昔ばかり見て、今を否定し絶望するならば、前に進むことは出来ません。ですから過去に生きるのではなく、今を導いてくださっている神に目を止めていきましょう！私たちの神は、「アブラハム、イサク、ヤコブの神。」(出エジプト記3章16節)です。これは昔の神ではなく、アブラハムにも、イサクにも、そして、ヤコブの時代にもおられた神ということなのです。ですから以前の神ではなく、今現在の神です。そして、自らに対して言ひましょう！「わがたましいよ。なぜ、おまえは絶望しているのか。」その上で、サタンに向かってイエス様の御名の権威を持って命じましょう！「サタンよ！引き下がれ！」そして更に、御言葉を告白しましょう！聖書の約束です。

「では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるならば、だれが私たちに敵対できるでしょう。」(ローマ書8章31節)「しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。(ローマ書8章37節) この御言葉の故に、私たちは絶望はしなくてよいのです！

### 3. つづく不幸の故の渇き

「あなたの大滝のとどろきに、淵が淵を呼び起こし、あなたの波、あなたの大波は、みな私の上を越えて行きました。」(7節)

パレスチナの地は、乾期と雨期の差が激しく、川底に全く水がない時期もあれば、ヘルモン山の雪解けの時期になれば、いっきに大量の水が川に流れ込むような時もあります。これと同じように、人生にも様々な状況が起こります。この作者の人生にも、多くの苦難や試練が何度となく、波のようくり返されました。「あなたの大波、あなたの大波は、みな私の上を越えて行きました。」人は度重なる試練を何度も経験するならば、やがて望みを失ってしまうかもしれません。この大波は、不幸な出来事の連続です。しかし、ここでコラの子らは、自分に向かってこう言ひます。「神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。」(5節)



### サマリアの女とイエス様

ヨハネの福音書4章に、イエス様がサマリアの女と呼ばれる女性と出会った話があります。この女性は、正に、「鹿のように」水を求めて井戸に水を汲みに来ました。そして、イエス様と出会うのです。この女性の人生には、過去、何度も大波のような不幸な出来事が起こりました。それ故、心は渇ききっていました。しかし、さいわいにイエス様から生ける水を頂き、それを飲むのです。その時に、この女性は生まれ変わるのです！そして、こう言ひます。

「女はイエスに言った。『私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いっさいのことを私たちに知らせてくださるでしょう。』」(ヨハネ4章25節)

このサマリアの女は、激しい渇きの中で、実は神との出会いを待ち望んでいました。そこにイエス様が訪れたのです。これは決して偶然ではありません。神の憐みのご計画です。

「イエスは言われた。『あなたと話しているこのわたしがそれです。』」(ヨハネ4章26節)

私たちは絶望しなくて良いのです！神を待ち望みましょう！

「さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。『だれでも渇いているならば、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。』」

(ヨハネ7章37節・38節)

# 今年の夏、CFNJ 宣教アウトリーチへの、ご支援のお願い！ インドネシア、ジャヤプラ宣教



5000人集まることが予想されている、「伝道といやしの集会」の会場

今年の夏、学院では、海外アウトリーチとして、「インドネシア」に向けて宣教の為の準備を進めております。学生、スタッフ合わせて19名が参加する予定です。世界大宣教命令の実現の為に、皆様のお祈りとご支援を必要としております。現在、**全体で約65万円が不足しております。**この為に、是非、ご協力をよろしくお願い致します。

■**予定期間** / 7月20日(木)～8月1日(火)

- ・北海道出発 / 20日(木)
- ・ジャカルタ / 21日(金)～24日(月)
- ・ジャヤプラ / 25日(火)～30日(日)
- ・北海道帰国 / 8月1日(火)

■**奉仕内容** / 伝道・教会訪問・伝道集会参加

■**参加予想人数** / 19人

■**費用** / 22万円 (一人当たり)  
(現在、65万円が不足しています。)



— 性問題の意識と聖書 — ジェンダーとは、「性」のことです。

## ジェンダーについて、理解を深める為のセミナー

LGBTと聖書



■ **講師** : 藤田 桂子 師  
(JCM 代表。鳳キリスト恵み教会の協力伝道師。ママのほっとステーション代表。)

■ **日時** / 9月1日(金)「牧師・リーダー向けのセミナー」

9月2日(土)「一般向けのセミナー」(どなたでも参加出来ます。)  
(どちらも午後1時～4時迄) ※集会の後半で、質疑応答の時を持つ予定です。

■ **場所** / CFNJ 聖書学院

■ **参加費** / 無料(席上献金あり)

■ **主催** / 北海道合同賛美祈り会

※このセミナーは、今、社会にある、LGBT(※)の問題と、その理解を深める為の集いです。

※LGBTとは？同性愛者のレズビアン(L)やゲイ(G)、両性愛者のバイセクシュアル(B)、心と体の性が一致しないトランスジェンダー(T)といった各語の頭文字をとった総称です。





ゲストスピーカー「久保田文吾師」



レクリエーションの合間



YFN 祈り会



賛美風景



賛美風景



YFNが、ゴールデンウィーク期間中「5/2(火)～5/5(金)」に、CFNJ 聖書学院にて開催されました！

今年のYFNは、「御国を受け継ぐ」(エペソ1章11節より)をテーマに、「御国を受け継ぐ集会」を中心とした様々なプログラムが用意されました。諸教会の皆さまのお祈りとご支援のゆえに、今年は昨年以上の参加申込みがあり、道内外の諸教会からたくさんのユースが参加し、キャンプは大いに盛り上がりを見せていました。

### 御国を受け継ぐ集会

今回は、ゲストスピーカーに、「キングダム・シーカーズ(東京都渋谷区)」より「久保田文吾 牧師」をお迎えし、御言葉を通して、神の御国を受け継ぐためのポイントをメッセージしていただきました。集会のメッセージと祈りのなかで、若者たちの信仰が建て上げられ、多くの参加者が励ましとチャレンジを受け取っていました。

### ユースのなかに起きている主の計画と働き

ユースが、主への賛美を心から、力いっぱいしている様子や、彼らが御言葉に飢え渇きを持って真剣にメッセージを聞いている姿は、今までに見たことのないような美しい光景でした。キャンプの期間中、そのようなユースたちのただ中に、主の臨在が絶え間なくありました。彼らは、近い将来、この地上で御国を解き放つ者となり、この地にかつてないほどのリバイバルとインパクトをもたらす主の器たちであることを確信しました。

### YFN キャンプの後も

今回のYFNでは、キャンプ終了後にも、札幌大通り公園での伝道や、ICF教会を会場にユース・ライブ「UNITY(ユニティ)」が行なわれました。こちらにも、たくさんのユースが友人たちを誘って参加し、元気よく主を賛美していました。

これからもYFNは、諸教会のユース世代の建て上げのために仕えていきたいと願っております。

今後も、皆様のお祈りとサポートをよろしくお願い致します。

坂本 清憲



ICF教会で行われた「UNITY LIVE」



YFN 祈り会



御国を受け継ぐ集会①



御国を受け継ぐ集会②主の召しに応答するユースたち。



御国を受け継ぐ集会③聖霊を求めて



## 2017年度1学期



11名が、学びを始める!



「稲福エルマ師」

■去る、4月10日(月)、午前9時より、新宿シャローム教会の牧師であり、学院の顧問である、「稲福エルマ師」をお迎えして、2017年度の入学式が執り行われました。この日、新たな決意を胸に、11名が神様への献身の道をスタートしました。これからの歩みの為に、お祈りを願います。



■聖書やイエス様のことを沢山知りたいたいと思い、この学院に入りました。これから聖書の勉強を毎日出来ることを楽しみにしています。そして毎朝のデポジションや賛美を通してイエス様に近づくことで、もっとイエス様の愛を今まで以上に受け取りたいと思います。慣れるまで時間がかかってしまうと思いますが、イエス様に信頼して、恐れずに過ごしていきたいと思っています。学院生の方々や先生方、スタッフの方々に迷惑をかけてしまうと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。 ●本郷 真之介 (札幌市)



■この学院に入る目的は聖書を深く学ぶためだけでしたが、入学してわかったのがそれはほんの一部であってここで学べるものは他にもたくさんある事に気がきました！人間関係や賛美リードなどもあります。1番は日常で神様を崇める事、賛美する事ができる環境だなと思いました。それを学んでここを卒業した後でもそれを実践できるようにしたいです。学院のみなさん2年間よろしくお願い致します！ ●及川 ラファエル (愛知県)



■ハレルヤ！主の御名を褒め称えます。この度 CFNJ 聖書学院に入学できた事を感謝します。38年の公務員生活を辞め、残りの人生を神様の為に使っていただきたく当学院に入学しました。私の名前は、山谷です。今までの人生は、山あり谷ありの人生でした。しかし、神様は、私を愛して下さり、わたしの目にはあなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。と言われました。この愛に応えていきたいと思っています。 ●山谷 秀和 (沖縄県)



■ハレルヤ！CFNJ 聖書学院に導いてくださった神様に心から感謝します。6年間保育士として勤めてきた私にとって、CMP コース (Children's Ministry and Parenting) の開講は、はっきりとした祈りの応えでした。子どもたちを招く教会、主の喜ばれる家庭作り、弟子訓練、聖霊の働きなど…ここで学べる全てのことは今世界中で大いに必要のあるテーマです。基礎を学びながら実践も行うこの一年間、主が与えてくださった召しによって一心に学びたいと思います。 ●石坂 礼 (東京都)



■主の御名を賛美します。主の導きによって、また、神の家族の多くのとりなしの祈りによって学びの道が拓かれたことを感謝します。入学式に「わたしはあなたを信頼している」と主が語り、励ましてくださいました。主は良いお方、憐れみ深いお方です。主からの信頼、そして偉大な愛に応える者へと成長したいです。 ●田島 忍 (東京都)



■聖書を学び神様の想いと一致して、苦手だった伝道に沢山チャレンジしていきたいです。最終的には弟子をつくり、365日、神様と歩む信仰生活を送りたいです。批判しない！滅びの言葉を言わない！口から出る言葉、目から出る悪に気をつけて、誘惑のある場所を徹底的に避けていきます。古い習慣は捨て去り、新しく生まれ変わったものとして、1年間、訓練の年にしたいです！！ ●船曳 千尋 (札幌市)



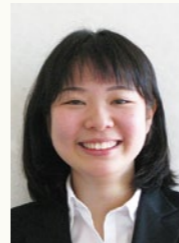
■私はこの学校で献身者となることを深く学び、将来的にはフルタイムで神様の働きをし、子どもたちにイエスさまという希望を届けることが出来れば良いと思っています。これから、この学校で奉仕をしたり、勉強ができることを考えると、楽しみで仕方ありません！  
学校で学べることは、どんどん学んでいこうと思います！この学校に入学することが出来、感謝！主と毎日ともに歩んでいこうと思います！！ハレルヤ！ ●本間 大聖 (長野県)



■ハレルヤ！感謝します。私の思いを遥かに超えた主の素晴らしい計画でこの学院に来れた事を信じ、感謝します。弱い私を主は、この学院でしっかりと訓練して下さる事に間違いないと確信しています。期待したいと思っています。主の御心にかなう者として、知識に於いても、心に於いても、信仰生活に於いても神の家族の交わりに於いても、主のみことばと恵みによって成長させられたいと願います。 ●高谷 美里 (兵庫県)



■ハレルヤ！主をほめたたえます。今年は主に私の平安を与えると語られ、新年に病気発覚、手術。2月に人生破滅かと思うほどの大事件が起こり、聖書学校に導かれました。年末には主の平安をしっかりと受け取っていると信じ期待し主と共に前進します！ ●船曳 恵美子 (札幌市)



■私の目標は、学んだことを教会の人に伝えて励ましたり、ノンクリスチャンの人々に神様のことを伝えることです！その為にはしっかり授業を受けて、宿題もすること。また学んだことを人生を通して見て、体験することです。その為に、神様に理解する力を貰い手助けして貰う必要があります。また、クリスチャンとしてどのように人と接するべきかをより深く学び、実践していく。神様のより深い愛をたくさん体験させて貰う！と考えています。 ●船曳 志織 (札幌市)



■イエス様の足元に座っているマリヤのような私です。暗闇の中、水の上を歩いて来られたイエス様に求められた時、すぐに応えられるようになりたいと思い、CFNJ に来ました。我が街札幌と日本のリバイバルの為に、少しでもイエス様と共に働ける人になれるよう、これからの授業に期待しています。 ●品田 由佳 (札幌市)





## 愛するとりなし手の皆様へ 世界の為の祈り

ジェラルド・グドール



## 祈りのレポート！ World Prayer Share Letter

一群のライオンが、イスラム過激派の攻撃からクリスチャンを救う。

これはご自分の民を救うための神の顕著な介入の証しです。「中東のための聖書」の責任者であるポール・シニラジ牧師は、彼と他のクリスチャンが三頭のライオンによって死から救助されたと証しています。

「奇跡が起こったのは今年のイースターの日でした（2017年4月16日）。」シニラジ牧師は、大勢の元イスラム教徒にバプテスマを授けた後、他のイスラム教徒の石打ちにあい、頭部に重傷を負い、友人の家で回復の時を過ごしていました。「突然、鉄棒などの武器で武装したイスラム教の過激派グループが、私たちの家に来ました」と同牧師は報告しています。シニラジ牧師は、これが自分の地上での終わりだと思いました。できることは一つしかありませんでした。祈ることです。その後、真に聖書的なことが起こったのです！「まったく意外なことに、ライオンが森から駆け抜けてきて、武装グループに向かって飛びかかり、一人の首を捕まえました。他の戦闘員がそのライオンを攻撃しようとしたとき、更に二頭のライオンが出てきて、彼らに飛びかかりました。恐ろしさのあまり、武装した3人は逃げ出し、ライオンたちは私たちを残して、去って行きました！」と牧師は言いました。「同様に驚くべきことに、記録によれば、この森にライオンは生息していないのです」と彼は言いました。



祈りましょう！

アフリカやアジアの各地でかつてないほど、多くの人々がイエス・キリストを信じ、主に立ち返っています。そして同時に、クリスチャンがかつてないほどの迫害を受けています。福音がさらに力強く前進し、クリスチャンが守られるように祈りましょう。

■情報源：<https://www.bibles4mideast.com/>

## 祈りのレポート！ World Prayer Share Letter

マンチェスター自爆テロに対する、預言的祈りの洞察。

テリーザ・メイ英国首相は2017年5月22日の夜にアリアナ・グランデのコンサートで起こった自爆テロを、「英国の歴史のなかでも最悪のテロリストの攻撃」と呼んでいます。この攻撃は、子供を含む22人の死者と59人の負傷者を残しました。これはもう一つの悲惨な攻撃ですが、今は霊的武器を置いておく時ではありません。私たちは、偽りの神に惑わされた邪悪な人間の荒々しい行為を通して現れている、暗闇の主権と権力に立ち向かわなければなりません。私たちは、諸国で荒れ狂っている霊的な戦いから後退してはなりません。これは確かに時のしるしです。聖書に預言されている終末のシナリオを変えることはできませんが、自爆テロ犯人を含めて一人も滅びないことが主のみこころであることを覚えて、主の導きにしたがって、とりなしの祈りを行うことができます。ここにいくつかの預言的祈りの洞察を紹介します。

1. 守りのために祈る。イギリスのため、あなたの国のため、そしてあなた自身のために、詩篇91篇を主張してください。詩篇91篇を預言的祈りの基盤にしてください。
2. テロと戦うための具体的な祈りの戦略を祈る。私たちは血肉に対抗しているわけではありませんが、確かに格闘しています。（エペソ6章）テロの勃発に対抗するためには、聖霊に導かれた新しい動きが必要です。私たちのとりなしの祈りはもっと預言的にならなければなりません。単なるお願いの祈りから、みことばに基づいた預言的祈りにならなければなりません。
3. 神の栄光が解放されるための祈りを含め、地球を覆う暗闇を貫くレーザー光線のように、焦点を当てた祈りを解き放つのを手伝ってもらうように聖霊様をお願いしてください。（イザヤ60:2）神の栄光がテロリストを覆い、彼らが主に降伏するように祈ってください。
4. テロが拡大している中で、人民を締め付けようとする恐れに霊に対して祈ってください。ルカ21:26は終わりの日に人々は恐ろしさのあまり、気を失うと書いています。神は私たちに恐れに霊を与えていません。（2テモテ1:7）恐れは何も解決しません。
5. 警察、軍隊、諜報機関などは、テロリストを法の裁きに導くだけでなく、攻撃が起こる前に、攻撃を防ぐために預言的洞察と戦略が必要です。主が彼らに知恵の霊を与えてくださるよう祈ってください。
6. 私たちはどのように祈るべきかわからないので、御霊によって祈りましょう。（ローマ8:26）■情報源：CHARISMANEWS



## 祈りのレポート！ World Prayer Share Letter

パスポートで、性別として、「X」を選ぶことができるようになるのか？

リベラルな団体の意見が通れば、英国市民はもうすぐ「X」を使って自分の身元を示すことができるようになります。LGBT組織のストーンウォール（Stonewall）は、トランスジェンダーの人々が「X」と識別できるように英国政府に要請しました。ストーンウォール・トランス・アドバイザリーグループのメンバーであるタラ・ストーン氏は、「トランスジェンダーの人々の中には、このように性別を指定することを通して、自分のアイデンティティが認められていると感じる人がいる」とBBCに伝えました。「また、日常生活の中で他のものにアクセスするという点では、性別を識別する身分証明書を持っていることは、本当に便利です」。オーストラリアはすでに「X」という表記を提供しています。米国では第三の性の選択は提供されていませんが、パスポート所有者は医師の確認に基づいて性別を変更することができます。

祈りましょう！

LGBTの人々も神の形に造られ、神に愛されています。しかし、LGBTのライフスタイルやそれに伴う多くの選択は神の基準や神の理想ではありません。日本の教会がLGBTの人々へ神の愛と救いを届け、キリストにある平安と祝福を伝える器となることができるように祈りましょう。下記のセミナーの祝福のために祈ってください。※CFNJ聖書学院では、9月1日、2日に、「ジェンダーについて理解を深める為のセミナー」を開催します。（ページ参照）■情報源：CHARISMANEWS





# あなたも学院で学んでみませんか！

## 2017年、9月からの 新入生募集中！

(各学期からも入学できます)



アルプスコース  
1・2年コース  
短期コース  
通信・聴講制度

ホームページをご覧ください!

**cfnj.com**

- ★演劇・ドラマコース
- ★タンバリンクラス
- ★ドラムクラス
- ★ピアノクラス
- ★英語クラスほか

**体験入学も可能です。** 授業料、宿泊費、食費込み ※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。

## CFNJ CD販売・刊行物

不治の病と言われた難病である、筋ジストロフィー症からの奇跡の癒し！



感動の証し「神の指がふれた時」朗読CD  
定価 / 1枚 (CD) (送料別) **700円**



「神のみことばのいやしの力」朗読CD  
定価 / 1枚 (CD) (送料別) **1,000円**

創世記から黙示録までのいやしに  
関するみことばの朗読のCD

無料プレゼント！ゴドソリンゼイ著 (復刻改訂版)



「山をも動かす祈り」



「いやしの信仰」



「主の恵み尽きることなく」



「いやしの信仰」「聖霊のバプテスマを受けるには」  
驚くべき憐れみに満ちた人生の証

「主の恵み尽きることなく」

副学院長 鍛冶川 紀子著

●お申し込みは/学院事務局まで

※サンプルは、右記のページで聴くことができます。 <http://www.cfnj.com/media.html>



CHRIST  
FOR THE NATIONS  
JAPAN

宗教学人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

# CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文

